

- 平成27年11月5日、防衛省から木更津市及び木更津市議会に、木更津駐屯地を基盤として日米オスプレイの整備を行うことについて、事業の詳細をご説明しました。
- その際、木更津市議会からは、オスプレイの整備開始に先立って、米海兵隊MV-22オスプレイと、木更津駐屯地に現在配備されている陸自CH-47JAの騒音比較を木更津駐屯地において実施するよう要請がありました。
- この要請を受け、下記内容により、米海兵隊MV-22オスプレイと陸自CH-47JAの騒音比較を実施することとなりましたので、お知らせいたします。

■ 実施日時等 (天候により中止になる場合があります。)

実施日時: 平成28年4月25日(月) 8:30頃~13:30頃

測定場所: ①木更津駐屯地、②木更津駐屯地南側、及び③木更津駐屯地北側の3か所

測定方法: 防衛省北関東防衛局の職員が測定します。

※ 測定に支障のないよう御協力をお願いいたします。特に、雑音などがありますと正確な測定に支障を来しますので、静粛な測定に御協力をお願いいたします。

1. 場周経路飛行時の騒音比較(騒音最大値)



米海兵隊
MV-22オスプレイ

オスプレイの離発着経路として使用が見込まれる**固定翼機の場周経路**を周回したときの騒音を測定



陸自CH-47JA

① **オスプレイとの比較として**、陸自CH-47JAの離発着では通常使用していない**固定翼機の場周経路**を周回したときの騒音を測定(今回の騒音比較のため、臨時で固定翼機の場周経路を周回するものです。)

② 陸自CH-47JAの離発着で**通常使用している回転翼機の場周経路**を周回した騒音測定



(国土地理院HPを加工)

測定地点

- ・ 場周経路とは、離着陸する航空機の流れを整えるために、滑走路周辺に設定された飛行経路をいいます。
- ・ 木更津駐屯地では、小型ヘリコプターを除き、原則として西側(海側)場周経路を使用します。
- ・ 場周経路での回転方向(時計回り、反時計回り)は、離着陸時の風向き等によって決定されます。
- ・ 1ft(フィート)は、約30cmです。

2. ホバリング状態での騒音比較(騒音最大値)



米海兵隊
MV-22オスプレイ



陸自CH-47JA

①地上高150ft(約45m)

↑ オスプレイの定期機体整備で実施するホバリングチェックにおいて見込まれる上限高さ

②地上高30ft(約9m)

↑ ↓ オスプレイの定期機体整備で実施するホバリングチェックにおいて見込まれる下限高さ

木更津駐屯地滑走路



- ・ ホバリングチェックとは、ヘリコプターなどが空中で停止した状態で行う安全チェックをいいます。
- ・ 上図のホバリングチェックは、定期機体整備に伴い木更津駐屯地内において実施するものであり、駐屯地外の飛行において行うものではありません。
- ・ 1ft(フィート)は、約30cmです。

※ 騒音値は、気象条件や地形、地上の状態等、騒音測定時の条件の違いによって変化するので、他の測定結果と単純に比較することはできません。